



一般社団法人日本遠隔医療学会

令和5（2023）年度（第13期）定時総会 議案書

第1号議案	令和4年度(第12期) 事業報告
第2号議案	令和4年度(第12期) 決算・監査報告
第3号議案	令和5年度(第13期) 事業計画
第4号議案	令和5年度(第13期) 予算
第5号議案	理事および監事選任の件

開催場所 東京都文京区湯島 3-6-1 全国家電会館 1F 会議室
開催日時 2023年6月17日（土） 13:00～14:00

*** 関連日程 ***

編集委員会	6月17日（土） 10:30～12:00
新理事会	6月17日（土） 14:00～14:30
運営会議	6月17日（土） 14:45～16:15
懇親会	6月17日（土） 16:30～18:30

第1号議案 令和4(2022)年度(第12期)事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌(機関誌)の発行

(1) 発行実績

令和4年度は3冊の日本遠隔医療学会雑誌第18巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第18巻1号 令和4年6月 650部

日本遠隔医療学会雑誌 第18巻2号 令和4年9月 650部

日本遠隔医療学会雑誌 第18巻補刊号※ 令和5年3月 650部

※補刊号には、以下の発表抄録を収載した。

①JTТА2022 SAITAMA B演題抄録 ②JTТА スプリングカンファレンス2022抄録

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長 森田 浩之 岐阜大学

委員 大山 太 東海大学

木ノ内 玲子 旭川医科大学

酒巻 哲夫 社会福祉法人・恵林/森の泉

鈴木 亮二 高崎健康福祉大学

東福寺 幾夫 高崎健康福祉大学

長谷川 高志 群馬大学

山田 桃子 羽生総合病院

2. 第26回日本遠隔医療学会学術大会 JTТА2022 SAITAMA の開催

新型コロナウイルスパンデミックのため、ハイブリッド方式で開催した。

会期 2022年10月28日(金)～29日(土)

会場 さいたま市 埼玉会館

オンデマンド公開期間 2022年11月14日(月)～12月14日(水)

大会長 本間 聡起 独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター

テーマ 遠隔医療はパンデミック時代のゲームチェンジャーになるか?

※実施報告は本会雑誌19巻1号に掲載した。

3. JTТА Spring Conference 2023 の開催

期日 令和5(2023)年2月5日(土)～2月6日(日)

会場 東京・全国家電会館(ハイブリッド方式で開催した)

プログラム

特別企画Ⅰ 「電子処方箋運用開始に当たって」

特別企画Ⅱ 「SaMD(プログラム医療機器)の推進と技術の方向性」

特別企画Ⅲ 厚生労働行政推進調査事業報告 病院のサイバーセキュリティの現状
一般演題 4 演題
参加者数 50 人程度

Ⅱ 委員会・分科会および社会貢献活動

1. 社会保険委員会

内保連（一般社団法人内科系学会社会保険連合）に長谷川高志（常務理事・社会保険委員長）が内保連・遠隔医療関連委員会・副委員長として活動した。

詳細報告は、本会雑誌 19 巻 1 号に掲載した。

2. 普及委員会

JTTA Spring Conference 2023 を主催し開催した。

3. 編集委員会

新投稿システムの運用を開始した。

4. 禁煙推進学術ネットワークへの加盟、委員派遣

禁煙学術ネットワークにおけるデジタル療法の取り扱いに関わる議論に参加した。

5. 厚生労働省遠隔医療従事者研修事業

（1）事業応募

特定非営利活動法人日本遠隔医療協会を応募団体として、本会を主催団体として、令和 4 年度遠隔医療従事者研修事業に応募し、受託した。

（2）事業実施計画と実施状況

以下の如く 6 回、オンライン方式で開催した。

第 1 回	2022 年 11 月 27 日（日）	15:00～17:00
第 2 回	2022 年 12 月 18 日（日）	15:00～17:00
第 3 回	2023 年 1 月 15 日（日）	15:00～17:00
第 4 回	2023 年 1 月 29 日（日）	15:00～17:00
第 5 回	2023 年 2 月 12 日（月）	15:00～17:00
第 6 回	2023 年 3 月 12 日（日）	15:00～17:00

参加者 総数は、6 回合計 611 人

講師 本会会員、延べ 19 人

6. 分科会の活動

以下の20の分科会が、活動報告書を提出した。活動報告は本会雑誌第19巻1号に掲載した。

No.	分科会名	英文名称	分科会長	分科会長所属先
1	国際医療分科会	SIG Video Remote Medical Interpreting	瀧澤 清美	NPO 法人地域診療情報連携協議会
2	在宅見守り支援分科会	SIG Home Telecare	鈴木 亮二	高崎健康福祉大学
3	周産期医療分科会	SIG Perinatal Telemedicine	小笠原 敏浩	岩手県立二戸病院
4	睡眠遠隔医療分科会	SIG Sleep Telemedicine	千葉 伸太郎	医療法人愛仁会 太田睡眠科学センター
5	オンラインバイタルモニタリング分科会	SIG Guidelines for Telemonitoring Devices from Patient's Home	中村 昭則	NHO まつもと医療センター
6	精神科遠隔医療分科会	SIG Telepsychiatry	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
7	市民に遠隔医療をやさしく学んでもらう分科会	SIG Telemedicine Education for Citizens	大木 里美	遠隔医療をとことん考える会
8	歯科遠隔医療分科会	SIG Teledentistry	長縄 拓哉	ムツー株式会社
9	デジタル療法分科会	SIG Digital Therapeutics / Digital Therapy	佐竹 晃太	日本赤十字社医療センター／CureApp Institute
10	皮膚科遠隔医療分科会	SIG Tele dermatology	吉崎 歩	東京大学大学院 医学系研究科・医学部 皮膚科学
11	循環器における在宅医療分科会		笠原 真悟	岡山大学 心臓血管外科
12	遠隔ICU分科会	Tele-ICU subcommittee	高木 俊介	横浜市立大学付属病院 集中治療部
13	オンライン診療分科会	Special Interest Group of Online medicine	黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 こどもとおとなのクリニック「パウルーム」
14	遠隔医療基盤検討分科会	SIG Infrastructure of telemedicine	近藤 博史	協立記念病院
15	へき地遠隔医療分科会	SIG Rural Telemedicine	原田 昌範	山口県立総合医療センターへき地医療支援センター
16	オンライン服薬指導分科会	SIG Online Medication Instruction	狭間 研至	ファルメディコ株式会社
17	テレナーシング分科会	Telenursing Special Interest Group	亀井 智子	聖路加国際大学大学院看護学研究科
18	腫瘍内科遠隔医療分科会	SIG Telemedicine in medical oncology	砂川 優	聖マリアンナ医科大学 腫瘍内科
19	血液内科遠隔医療分科会	SIG Remote Hematology	西川 彰則	和歌山県立医科大学附属病院
20	DtoD 遠隔専門医相談システム分科会	SIG Doctor to Doctor e-consultation	山田 裕揮	株式会社 Medii

Ⅲ 国際交流活動

1. ISfTeH メンバーシップの維持

2022 年度に引続き、2023 年度の National Member の継続手続きを行い、Member Ship を維持した。

2. ISfTeH Board Member としての活動

近藤博史会長が ISfTeH Board Member として Board Member Meeting に参加した。

Ⅲ 学会組織の運営

1. 役員、幹事会員および運営会議議員名簿

令和 4 (2022) 年度の役員、幹事会員、運営会議議員名簿は以下の通り。

1) 役員

理事 (任期 2022 年度末まで)

氏名	所属	役職
笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	理事
黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック	理事
郡 隆之	利根中央病院	常務理事
鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	理事
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	専務理事
長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	常務理事
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	理事副会長
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	代表理事会長
佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	理事
本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	理事

監事 (任期 2024 年度末まで)

吉井 宏文	吉井宏文税理士行政書士事務所	監事
-------	----------------	----

2) 幹事会員 (任期 2022 年度末まで)

氏名	所属	選出方法
石子 智士	旭川医科大学医工連携総研講座	2019 選挙
太田 隆正	太田病院	2019 選挙
大山 太	東海大学医学部看護学科	2019 選挙
笠原 真悟	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	2019 選挙
加藤 浩晃	京都府立医科大学	2019 選挙
黒木 春郎	医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック	2019 選挙
郡 隆之	利根中央病院	2019 選挙
鈴木 孝昭	弁護士法人 AIT 医療総合法律事務所	理事会推薦
鈴木 亮二	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	2019 選挙

東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	理事会推薦
長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	理事会推薦
福島 明宗	岩手医科大学医学部臨床遺伝学科	2019 選挙
武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会	理事会推薦
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野	理事会推薦
吉田 晃敏	旭川医科大学	2019 選挙

3) 幹事会員（任期 2024 年度末まで）

氏名	所属	選出方法
芦原 貴司	滋賀医科大学 医療情報部・循環器内科	2021 選挙
小笠原 敏浩	岩手県立二戸病院	理事会推薦
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	理事会推薦
坂田 信裕	獨協医科大学医学部 情報基盤センター	理事会推薦
佐竹 晃太	株式会社キュア・アップ	2021 選挙
清水 周次	九州大学病院 国際医療部	理事会推薦
高木 俊介	横浜市立大学附属病院集中治療部	2021 選挙
中村 昭則	信州大学病院神経内科	2021 選挙
野村 章洋	金沢大学附属病院先端医療開発センター	2021 選挙
原田 昌範	山口県立総合医療センターへき地医療支援センター	2021 選挙
本間 聡起	埼玉メディカルセンター・健康管理センター	2021 選挙
真原 仁	千葉大学医学部附属病院地域医療連携部	2021 選挙
森山 智彦	九州大学病院国際医療部アジア遠隔医療開発センター	2021 選挙
山田 桃子	NPO 法人 medical-e.net	理事会推薦
米澤 麻子	株式会社 NTT データ経営研究所	2021 選挙

4) 運営会議議員（お名前のみ）

石子 智士、太田 隆正、大山 太、笠原 真悟、加藤 浩晃、黒木 春郎、郡 隆之、鈴木 孝昭、鈴木 亮二、東福寺 幾夫、長谷川 高志、福島 明宗、武藤 真祐、森田 浩之、吉田 晃敏、芦原 貴司、小笠原 敏浩、近藤 博史、坂田 信裕、佐竹 晃太、清水 周次、高木 俊介、中村 昭則、野村 章洋、原田 昌範、本間 聡起、真原 仁、森山 智彦、山田 桃子、米澤 麻子、吉井 宏文、児玉 直樹、樽松 八平、原 量宏、酒巻 哲夫、江口 幸仁、大林 克巳、岡田 宏基、尾形 優子、亀井 智子、岸本 泰士郎、高橋 裕子、狭間 研至、松本 浩樹、村上 礼子、森 一郎、吉崎 歩（以上、47 人）

2. 総会の開催

令和 4 年度定時総会は、COVID-19 蔓延のため、ハイブリッド方式で開催した。

- (1) 方式 対面及び定款第 21 条による電磁的手段を併用
- (2) 期日 令和 4 (2022) 年 6 月 18 (土) 15:00~17:00
- (3) 場所 全国家電会館 1F 会議室 (東京都文京区湯島 3-6-1)

(4) 議案書 メール添付にて送付

- 第1号議案 令和3年度(第11期)事業報告
- 第2号議案 令和3年度(第11期)決算・監査報告
- 第3号議案 令和4年度(第12期)事業計画
- 第4号議案 令和4年度(第12期)予算

(5) 審議参加状況

議決権のある社員総数	30名(議決権の数 30個)
出席社員数	29名(議決権の数 29個)
現地参加	6名
オンライン参加	12名
委任状提出	11名
出席理事	近藤博史(議長兼議事録作成者)、森田浩之、東福寺幾夫、長谷川高志、鈴木亮二、本間聡樹
欠席理事	笠原 真悟、黒木 春郎、郡 隆之、佐竹 晃太(いずれも委任状提出)
出席監事	吉井宏文(オンライン)

(5) 審議結果

- 第1号議案 令和3年度(第11期)事業報告承認の件
満場異議なく、承認可決した。
- 第2号議案 令和3年度(第11期)決算承認の件
満場異議なく、承認可決した。
- 第3号議案 令和4年度(第12期)事業計画承認の件
満場異議なく、承認可決した。
なお、本議案に関連して、遠隔医療の一層の普及を図るためにも教育事業の実施検討をすべきとの意見が提出され、運営会議にて具体化に向けての議論を行うこととした。
- 第4号議案 令和4年度(第12期)予算承認の件
満場異議なく、承認可決した。

3. 理事会の開催

理事会は以下のとおり2回開催した。

【第1回理事会】

- 審議期間 2022年6月1日(水)～同年6月6日(月)
- 審議事項 2022年度定時総会議案書について

【第2回理事会】

- 審議期間 2022年2月9日(木)～同年2月11日(土)
- 審議事項 1) 2023年度幹事会員選挙における理事会指名幹事会員について
2) 2023年度幹事会員選挙における候補者の活動実績、COI開示及び抱負提出について
3) 2022年度理事の活動報告の提出と開示について

4. 運営会議の開催

運営会議は、以下のとおり4回開催した。

【第1回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2022年6月18日(土) 15:00~17:00
場所 全国家電会館1F会議室(東京都文京区湯島3-6-1)
出席状況 現地参加 7名
オンライン参加 25名
委任状移出 11名
4名

【第2回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2022年10月27日(木) 16:30~18:30
場所 さいたま市 埼玉会館
出席状況 現地参加 14名
オンライン参加 14名
委任状提出 13名
欠席 6名

【第3回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2022年12月4日(日) 13:30~15:30
場所 東京 全国家電会館 1F会議室
出席状況 現地参加 12名
オンライン参加 13名
委任状提出 12名
欠席 5名

【第4回運営会議】 ハイブリッド開催

日時 2023年2月5日(日) 13:00~14:40
場所 東京 全国家電会館 1F会議室
出席状況 現地参加 12名
オンライン参加 20名
委任状提出 7名
欠席 2名

5. 会員の状況

(1) 令和5年3月31日現在会員数(全員が2021年度会費を納入したわけではない)

正会員 608人(前年度末は686人) 30人の幹事会員を含む。
学生会員 27人(前年度末40人)
購読会員 4人(前年度末5人)
賛助会員 13社(前年度末14社)

(2) 令和4年度新規入会者

正会員	52 人（前年度 51 人）
学生会員	7 人（前年度 7 人）
購読会員	0 人（前年度 0 人）
賛助会員	1 社（前年度 3 社）

(3) 令和 3 年度退会者

本人意思	59 人（前年度 42 人）
3 年会費未納	41 人（前年度 36 人）

6. ホームページの運用

日本語ページ URL	http://jtta.umin.jp/index.php
英語ページ URL	http://jtta.umin.jp/eng/index.php

(1) 日本語ページ運用状況

- ・トップページのお知らせは、24 回掲載・更新した。
- ・学術大会 JTTA2022 のバナーをトップページに掲載し、大会サイトアクセスの便宜を提供した。
- ・Spring Conference 2023 については、専用ページを作成した。
トップページにはバナーを配置し、情報提供、演題募集、参加登録の便宜を提供した。

(2) 英語ページ運用状況

英語のページについては更新ができておらず、今後運用の改善が必要である。

以上。

第2号議案 令和4(2021)年度(第12期)決算報告

1. 貸借対照表

貸借対照表

令和5年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
借方科目名	金額	貸方科目名	金額
	円		円
(流動資産合計)	11,857,077	(流動負債合計)	1,621,800
普通預金	10,692,255	未払金	514,800
定額貯金	400,000	前受会費	1,097,000
学会誌バックナンバー	602,712	仮受金	10,000
備品費	162,110		
		資 本 の 部	
		前期繰越正味財産	9,191,031
		当期正味財産増加額	1,044,246
資産合計	11,857,077	負債及び正味財産合計	11,857,077

2. 財産目録

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
(流動資産合計)	11,857,077	(流動負債合計)	1,621,800
郵貯銀行 普通口座ぱるる	2,900,898	未払金	514,800
郵貯銀行 振替口座	1,067,938	前受会費	1,097,000
群銀 高崎	664,083	仮受金	10,000
群銀高崎栄町1	1,618,376		0
P a y P a l	0	負債合計	1,621,800
群銀高崎栄町2	4,440,960		
定額貯金	400,000	資 本 の 部	
		前期繰越正味財産	9,191,031
学会誌バックナンバー	602,712	当期正味財産増加額	1,044,246
備品費	162,110	負債及び正味財産合計	10,235,277
資産合計	11,857,077	負債及び正味財産合計	11,857,077

コメント 未払い金は当期請求分の支払未完費用。前受会費は次年度分会費の今期納入分。仮受金は、納入者不明会費。

3. 収支報告書

収支報告書

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

科 目	金 額	
		円
【会費収入】		
幹事会員会費収入	420,000	
正会員会費収入	4,912,000	
学生会員会費収入	70,000	
購読会員会費収入	40,000	
賛助会員会費収入	650,000	
過年度会員会費収入	662,000	6,754,000
【参加費収入】		
SpringConference参加収入	437,472	437,472
【学会誌事業収入】		
学会誌別冊作成	22,790	
J T T A論文掲載料	310,000	
学会誌バックナンバー販売	57,000	
著作権使用料	11,880	401,670
【その他収入】		
受取利息	78	78
経常収入合計		7,593,220

【事業費】		
SpringConference開催費	936,072	
分科会活動助成金	12,200	
広報活動費	184,800	
会議費	351,630	
機関誌印刷費	2,348,720	
論文別冊印刷費	17,600	
論文査読支援業務費	764,500	
論文投稿受付システム費	0	
学術大会支援費	0	
内保連年会費	200,000	
禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000	
IS f TeH年会費	0	4,915,522
【管理費】	0	
事務局人件費	113,000	
事務局業務委託費		
国内旅費	158,944	
運搬通信費	367,277	
手数料	9,490	
消耗品費	347,018	
倉庫借用料	66,000	
税理士報酬	330,000	
雑費	26,960	
学術大会準備金	300,000	1,718,689
	経常支出合計	6,634,211
	経常収支差額	959,009
	その他資金支出合計	85,237
期首棚卸高	△ 513,475	
期末棚卸高	655,533	
バックナンバー廃棄損	△ 56,821	
	当期正味財産増加額	1,044,246
	前期末正味財産	9,191,031
	当期正味財産合計	10,235,277

4. 監査報告書

監査報告書


私は、令和5年4月20日、役員より提出された令和4年分事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

令和5年4月20日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監 事

吉井 宏文 

第3号議案 令和5(2023)年度(第13期)事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌	19巻1号	2023年6月発行	700部程度
日本遠隔医療学会雑誌	19巻2号	2023年10月発行	700部程度
日本遠隔医療学会雑誌	19巻補刊号	2024年3月発行	700部程度

(2) 学術集会開催

第27回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2023 NIIGATA)

大会長	児玉 直樹 (新潟医療福祉大学)
実行委員長	橋本 薫 (新潟医療福祉大学)
会期	2023 (令和5) 年11月11日 (土) -12日 (日)
会場	朱鷺メッセ (新潟市中央区)

JTTA Spring Conference 2024

会期	2024年2月10日 (土) -11日 (日)
会場	全国家電会館 (東京都文京区湯島)

(3) 学術大会開催準備

第28回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2024)

大会長	笠原 真悟 (岡山大学)
会期	2024年11月9日 (土) -10日 (日)
会場	岡山コンベンションセンター

第29回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2025)

大会長	吉嶺 裕之 (社会医療法人春回会井上病院)
会期	未定
会場	長崎市内

第30回日本遠隔医療学会学術大会 (JTТА2026)

本年度中に、大会長・開催都市を決定する。

2. 委員会・分科会および社会貢献活動

(1) 委員会

各委員会の活動方針と計画に従い、着実に活動を展開する。

(2) 分科会

各分科会の活動が滞りなく進行するよう、適切な支援を実施する。

- ・学術大会における分科会セッションの開催等の活動実施
- ・年度末における活動報告書の提出

(3) 社会貢献活動

関連団体と連携し、社会の要請に対応する。

3. 国際交流・広報活動

(1) ISfTeH

ISfTeH のナショナルメンバーとしてのメンバーシップを維持・継続する。また、近藤博史氏の役員活動を支援する。

(2) ホームページのリニューアルと運用

ホームページを使いやすく改造し、英語ページの運用を定着させる。

(3) 各方面からの問合せへの対応

報道機関その他の問い合わせに、タイムリーに対応する。

4. 政策支援活動

内保連・禁煙推進学術ネットワークと連携して、医療保険制度に関わる活動を展開する。

5. 組織運営

(1) 2023 年幹事会員選挙の実施

- ・理事会選任幹事会員の選任（2023 年 3 月までに理事会で決定する）
- ・選挙人名簿の確定と選挙の円滑で公正な実施

(2) 定時総会

定時総会 2023 年 6 月 17 日 東京・全国家電会館

(3) 理事会

第 1 回理事会（旧メンバー）

2023 年 6 月 総会議事録の審議（メールによる開催）

第 2 回理事会（新メンバー）

2023 年 6 月 総会後、理事会内役割り分担決定

第 3 回理事会 2023 年 12 月 東京・全国家電会館

第 4 回理事会 2024 年 2 月 東京・全国家電会館（SC2024 会場）

(4) 運営会議

第 1 回運営会議 2023 年 6 月 東京・全国家電会館、定時総会後に開催

第 2 回運営会議 2023 年 11 月 新潟・朱鷺メッセ（JTJA2024 会場）

第 3 回運営会議 2023 年 12 月 東京・全国家電会館

第 4 回運営会議 2024 年 2 月 東京・全国家電会館（SC2024 会場）

(5) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を維持し、会費・掲載料の適正な収納に努める。
- ・会員管理 正確な名簿を維持し、会員サービスの適時提供に努める。
- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信に努める。
英語ページの発信力向上を目指した運用を再検討する。
- ・役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援に努める。
- ・ISfTeH 窓口業務を遂行し、メンバーシップを維持する。
- ・その他 会の運営維持に関わる事項を遅滞なく実施する

(6) 委員会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 20 巻 1 号に掲載する。

- ・編集委員会 学会雑誌 19 巻 1, 2、補刊号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2024 開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援。
- ・社会保険委員会 内保連との連携と医療保険制度の周知
- ・国際交流委員会 国際交流の支援
- ・選挙管理委員会 2023 年度幹事会員選挙業務の遂行

(7) 分科会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 20 巻 1 号に掲載する。

- ・分科会の継続確認
- ・適切な助成の実施

第4議案 令和5(2023)年度(第13期)予算

第13期(2023年4月1日～2024年3月31日)の収支計画は以下のとおり。

	科目	2022年度実績	2023予算	予算コメント
事業収入	(1) 会費収入	6,754,000	7,240,000	
	幹事会員会費 当年度分	420,000	450,000	30人×15,000円
	正会員会費 当年度分	4,912,000	5,500,000	550人×10,000円
	学生会員会費 当年度分	70,000	100,000	25人×4,000円
	購読会員会費 当年度分	40,000	40,000	4人×10000円
	賛助会員会費 当年度分	650,000	750,000	15社×50,000円
	会費 過年度分	662,000	400,000	延べ40人×10,000円
	(2) 参加費収入	437,472	1,200,000	
	役員研修会参加費	-	-	開催なし
	Spring Conference参加費	437,472	1,200,000	120人×10,000円
	(3) 国際交流事業収入	-	-	
	ASEAN Forum開催資金	-	-	
	(4) 学会誌事業収入	401,670	320,000	
	学会誌別刷作成	22,790	-	
	J T T A論文掲載料	310,000	250,000	延べ25人×10,000円
	学会誌バックナンバー販売	57,000	60,000	6000円×10冊
	著作権使用料	11,880	10,000	医中誌等
	(5) その他収入	-3,959	80,020	
受取利息	41	20		
学術大会準備金戻入れ	-	80,000	JTTA2022から戻し入れ	
当期事業収入合計	7,589,183	8,840,020		
事業支出	(1) 事業費	1,376,902	3,200,000	
	分科会活動助成金	12,200	200,000	4分科会×5万円
	Spring Conference開催費	936,072	1,200,000	講師謝金・会場費・運営費・抄録集印刷費等
	委員会活動費	-	100,000	各種委員会会議費
	広報活動費	77,000	540,000	HP維持費13万円、HPリニューアル30万円、先期末払分110,000含む
	会議費	351,630	360,000	総会・理事会・運営委員会等会場費、運営費、通信費
	国際交流費	-	800,000	ISfTeH役員会派遣費(2人×40万円)
	(2) 学会誌事業支出	2,954,820	3,830,000	
	機関誌印刷費	2,348,720	2,800,000	19巻各700冊1号1.0千円2号2.0千円3号1.0千円
	論文査読支援業務費	588,500	700,000	論文査読業務支援委託等
	論文投稿受付システム費	-	330,000	論文投稿受付システムメンテナンス、先期末払い分176千円含む
	論文別刷印刷費	17,600	-	
	(3) 加盟費	300,000	510,000	
	内保連等年会費	200,000	270,000	内保連20万円、看保連7万円
	禁煙推進学術ネットワーク年会費	100,000	100,000	
	ISfTeH年会費	-	140,000	500USD×140JPY/USD 2023年度分支払い遅れ分含む
	(4) 管理費	1,187,689	1,572,000	
	事務局人件費	113,000	150,000	事務局学生アルバイト
	事務局業務委託費	-	120,000	学会誌等発送業務委託 3万円×4回
	事務局スペースレンタル費	-	132,000	月5,500円×12=66,000円(税込み)、2022年度分未払い分含む
	国内旅費	158,944	150,000	
	運搬通信費	367,277	380,000	請求書郵便10万円、電話4万円、ヤマト運輸24万円
	手数料	9,490	30,000	
	消耗品費	347,018	250,000	封筒・請求書用紙他
	税理士報酬	165,000	330,000	30万円+税
	雑費	26,960	30,000	
	(5) 租税公課	-	-	
	租税公課	-	-	
	(6) その他の支出	300,000	300,000	
	学術大会準備金	300,000	300,000	JTTA2024/30万円
	当期事業支出合計	6,119,411	9,412,000	
	事業収支	当期事業収入合計	7,589,183	8,840,020
当期事業支出合計		6,119,411	9,412,000	
当期事業収支		1,469,772	-571,980	
一般会計	前期末繰越金	4,084,523	6,651,295	
	当期末繰越金	6,651,295	6,087,315	
米子基金	一般会計から振替	-	-	
	米子基金口座利息	37	-	
	一般会計へ振替	-	-	
	米子基金残高	4,440,960	4,440,960	

予算編成の要点は以下の通り。

(1) 収入について

- ・正会員会費 会費を納入する正会員は、550人と見込む。
- ・前受会費の処理 2023年度末の前受会費は当期期初に会費収入に振り替える。
- ・仮受金の処理 納入者が判明次第、会費収入に振り替える。
- ・賛助会員会費 賛助会員は15社と見込む。

(2) 支出について

- ・国際交流費 ISfTeH 役員会議参加旅費。補助者を含め 2 名×1 回の旅費 80 万円を計上した。
- ・機関誌印刷費 単価 1 号 1 千円・2 号 2 千円・補刊号 1 千円で各 700 部。
- ・論文査読支援業務費 論文査読支援業務外注費用として 70 万円を計上した。
- ・論文投稿受付システム費 メンテナンス費として 10 万円を計上した。
- ・ホームページリニューアルの費用として、30 万円計上した。
- ・先期末未払い計上科目については、未払い分を含め、各科目に計上した。

(3) 事業収支について

- ・当期事業収支はキャッシュフローベースで約 57 万円の赤字を見込む。

(4) 米子基金の有効利用

- ・米子基金の動きがないため、有効利用を検討する必要がある。

以上。